

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成30年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図1～4）

14日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側で弱い白色の噴気が認められました。また、硫黄岳火口の西側の海岸線に沿って黄緑色の変色水域が分布していました。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



図1 硫黄鳥島 硫黄岳火口の噴気



図2 硫黄鳥島 グスク火口の噴気



図3 硫黄鳥島 硫黄鳥島西岸の変色水域

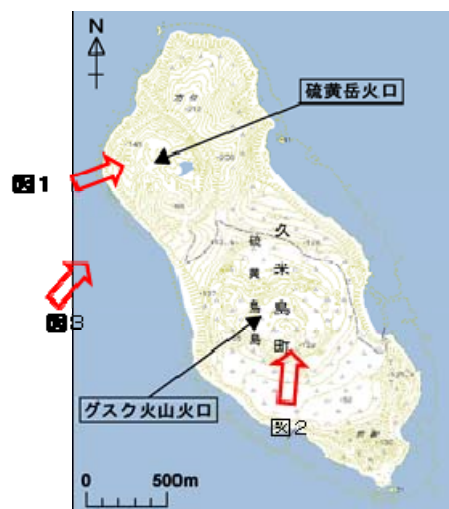


図4 硫黄鳥島 撮影位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

この資料は、第十一管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。